

2006年度第2回日本学生オリエンティング連盟幹事会議事録

2006年8月5日(土)

広報部長 高瀬 悠太

1. 自己紹介

省略

2. 大会後援申請の承認

山口大学大会の後援を承認した。

3. 日本旅行への要望書について

資料「今後のインカレにおける宿泊に関する要望書」など参照

要望書が完成したので、日本旅行側に提出する。提出は事業部長が行う予定(インカレ担当であり、かつ要望書作成にも関与しているため)。また、アンケート結果については、webで公開する予定。

4. 日本旅行へのこれからの要望書提出について

日本旅行との関係

相手に丸投げ(今まで) こちら側からアクションを起こして、より良い関係を築いていく(今後)。

アクションの内容

定期的に書類を提出。どういう風にやっていくかを今後細かく議論していく(以下、幹事会で出た意見)。

書類の内容:

アンケートを取る。項目については日本旅行側と相談して決める。生データのまま(日本旅行側が参考にしやすい)、若しくは何かしら加工して(学連側の意図が入れやすい)提出する。

アンケートのやり方:

インカレ実行委員会に協力してもらい、アンケートの配布・回収を行う。回収方法については何か工夫が必要。

取りまとめ役:

毎年、担当者が変わっていくようだと日本旅行側も困るはずなので、幹事にこだわらず、人材を探していく(場合によっては新役職を作る)。

5. 活動報告書について

活動報告書の現状

活動報告書はあまり読まれていない。何か知りたいことが出来たときぐらいにしか読まれていないのが現状。どうしたらもっと多くの人に読んでもらえるのか?

問題点: 内容が面白くない。昔の人のことは世代が離れていてイメージしづらい。分厚くて読む気が起らない。

改善点：読んで欲しい所をピックアップしてまとめ、別冊のようなものを作る。いびき等で興味をそそらせる(現状)。今後の活動報告書の原稿については、読んでもらえるような原稿になるように努力してみる(今後)。

活動報告書の配布部数

事務局に大量の在庫がある。とりあえず現状では、加盟校への配布部数は増やせないで、最低必要部数以外の在庫をどうするか考えていく。また、最低必要部数もしっかりと調べる。

活動報告書のweb化

現在、webにそこまでの認知度はないので、webだけにしてしまうのはありえない。ただ、昨年度の幹事会で活動報告書の情報の一部をwebに載せることは承認されているので、必要だと思われる情報は順次載せていく。

6．愛知インカレ地図代の清算について

資料「決算報告書」参照(この資料では黒字になっているが、地図代を加えると大幅な赤字になる)

前回の幹事会で求めた通り、愛知インカレの予算関係の書類が提出され、また、疑問点についても説明がなされたので、地図代金を支払うことに決定。また、細かい部分(代金未払いや料金立替)については幹事・理事で処理を担当することに決まった。

今回の赤字分について

WOC 関連イベントとして行っていたら、収支±0でもなんとかなったが、学生側の意思で独立して開催するということになったため、地図の費用負担が出てきた。

基本的にインカレロング(ICL)はコラボレーションを取ることを大前提としている。しかし、秋のJOA主催大会が消滅して組める大きな相手が消えたので、今後も財政的に厳しくなっていくかもしれない。

7．日本学連と関東学連の事務局運営取り決め覚書締結

昨年度に書類(活動報告書 p237 参照)を作成したが、まだ締結されていなかった(事務局が処理を忘れていたため)。現在、改めて処理中。

8．幹事会への幹事の出席に関して

臨時代表(報告書 p194 第14条参照)

出席できない幹事は代理人を立てる必要があるのだが、前回・今回と代理人を立てられないというようなことがあった。幹事会でしっかりとした議論ができるようにするためにも、最悪でも代理人を立ててもらいたい。

規約改正をして、代理人を立てることを義務化させる。改正場所・内容はMLで議論して決める。

代理人の選定

地区学連代表幹事はまだしも、各部局の場合は、代理人として出せるような人材がほとんどいないことが多い。

各部署の仕事引継ぎ・円滑な活動を可能にするためにも、もっと人材を集めていく。

9 . インカレ進捗状況

2006ICL@駒ヶ根

申し込み期限・方法などについては ICL 要綱 2 参照。

現状：

- ・エリートクラスの地図は 1/10000 で A4 サイズに決定。
- ・インカレ部分の調査は終了。試走も終わり、コース・ウイニング共に問題なし。
- ・会計はジェネシスマッピングに委託(学連の収益は± 0)。
- ・ES 関東に当日の運営を手伝ってもらおう予定。

2007ICL

地図があるところを使用したい(担当理事より)

愛知・矢板ぐらいしかない

矢板：運営者の確保が難しい

愛知：地図を利用したい

他の候補地も現在打診中。

10 . 技術委員会報告

担当者不在のため省略。

11 . 理事会報告

承認報告：

インカレ 2006 ミドル・リレーのイベントアドバイザーとして、石澤俊崇(1993年 早稲田大学入学)を承認

インカレ 2006 ロングにおける縮尺 1:10000 の地図使用を承認

現在、2006 年度インカレロングシードの承認について審議中

通常業務関連報告：

週 1 回のネットミーティング(毎週火曜 22:30 ~)

12 . 地区学連活動報告及び今後の活動予定

【北東学連】

<活動報告>

6月4日

東大大会において第一回インカレロングセレクション

<今後の予定>

8月12 ~ 15日

夏合宿（会場：静岡）

8月13日

北東インカレ（第二回インカレロングセレクション）

第一回北東学連幹事会

9月3日

第29回東北大大会

10月1日

北海道大学大会

15日

岩手大/岩手県立大大会

【北信越学連】

<活動報告>

7月9日 北信越学連交流会(新潟市)

第二回北信越学連総会

<今後の予定>

8月26日、27日 北信越学連合同合宿(静岡県)

第三回北信越学連総会

【関東学連】

<活動報告>

6月10日 総会@東大駒場

6月18日 ロングセレ@りんごの里

7月15日 総会@早稲田

<今後の予定>

8月12日 新人戦試走

8月29日 アルティメット大会@猿島

9月02日 総会@東大駒場

9月03日 新人戦試走

9月30日 新人戦準備

10月01日 新人戦@宇根峠

【東海学連】

<活動報告>

6月25日 東海インカレ（兼 ICL セレ）

<今後の予定>

8月25・26日 東海学連合宿

8月25日 第1回東海学連総会

【関西学連】

<活動報告>

6月23日 第三回関西学連総会（上津基幹集落センター）

・インカレミドルセレ日時、テレイン決定

・関西学連幹事変更の承認

7月9日 第一回近畿OL連絡会

・行事日程調整

【中九四学連】

<活動報告>

なし

<今後の予定>

8月18~21日 合宿

13. 各部局報告

【会計】

特になし。

【事業部】

秋インカレでの学生担当業務(開会式、会場の片付け)の割り振りを検討中。

後夜祭・講習会改革案を作成中。

【広報部】

第1回幹事会議事録を作成。

現在、いぶき・HP等の見直し検討中。

【普及部】

特になし。

【事務局】

インカレロングの旧テレインマップを各校に送付。

6/30分までの加盟・加盟員登録完了。

地図などの販売を行った。

14. その他

賛助会員加盟に対する地区学連への出資金について

賛助会員が加盟した際、学連から、その賛助会員の出身地区学連に1000円出資するという決まりがある。関東学連は規模が大きいということで以前は出資金をもらっていなかったが、現在は財政が厳しいので出資金をもらいたい。

関東を含めた各地区学連に対する出資金の状況(出資金の有無、規模)を確認する。学連の収入が減少する事項なので、出資金の額が分かってから、正式な判断を下す。

地区学連総会の無断欠席

一部の学校が、総会を無断欠席している。そこで、何かしら対抗処置(準加盟校への格下げ、何かしらペナルティーを課すなど)を取りたい。

準加盟校への格下げは、準加盟校の定義(新しく加盟した学校、加盟校への準備期間のようなもの)に反するので良くない。またペナルティーについても、日本学連として内容を決めたりするというようなことはしたくないので、なるべく各地区で対処して欲しい(総会に参加しやすい状況を作るなど)。

日本学連総会

・参加通知が来ていない学校が存在している

uofjメ～リングリスト参加校の確認。また、総会の際に参加校をしっかりと確認する。無断欠席の場合は責任のあるところにペナルティーを課すことも考える。

・学校代表渉外との温度差

渉外側が議論について来れてない。幹事のみが分かっていることを議論している感がある。

情報の共有化や興味を引く演出が出来るように努力していく。

ネット幹事会

メッセージなどを使って議論することを実験的にやってみる。テーマによって人数を絞って行ってみる予定。

会計監査の選出

東海学連からなるべく選出してもらう。

第1回日本学連総会の場所

まだ確保できていないので至急行う。日本旅行と相談して会議室があるホテルを押さえる。確保は事業部に行ってもらう。

15．次回幹事会の日程

12月か1月に第3回幹事会を行う。詳しい日程・場所についてはMLで報告。